

	契約係用
○	業者用

業 務 委 託 仕 様 書

件名 東西線8000形車両ヒ一夕整備

札幌市交通局高速電車部車両課大谷地検修係

担当者 石崎 浩人

Tel 891－3223 (内線8465)

仕様書番号 札交車26第2158号

1 適用

本仕様書は、東西線8000形車両のヒータ整備に適用する。

2 業務実施場所

札幌市交通局高速電車東車両基地

札幌市厚別区大谷地東6丁目1番1号

3 履行期間および作業時間

履行期間は、契約書に示す着手の日から令和8年12月25日までとし、作業の実施日は別途打ち合わせにより決定する。また、作業時間は8時45分から17時15分までを原則とする。

4 業務単位

1編成単位とする。

5 数量

19編成（1編成あたりのヒータ数・・・運転室6台、客室78台）

6 業務内容

(1) 乗務員室ヒータ

ア 蓋を2か所取り外す（別紙1のとおり）。

イ ヒータを気吹き、機器の破損、変色の有無、ヒータの取り付け状態を確認する。（別紙2「年検整備マニュアル8000形」の「六 へ」項に準じて点検を行うこと。）

ウ 終了後、委託者により整備状態の検査を受ける。

エ 委託者による検査終了後、蓋を取り付け作業終了とする。

オ 作業中、各部に異常が認められた場合には委託者へ報告すること。

(2) 客室ヒータ

ア 客室腰掛を取り外し、ヒータのロックを外す（別紙3のとおり）。

イ ヒータの外枠、内側及びヒータ周りを掃除機で清掃する（別紙4のとおり）。

ウ 清掃終了後、電源コネクタの接続、機器の破損、変色の有無、ヒータの取り付け状態を確認する。（別紙5「年検整備マニュアル8000形」の「六 へ」項に準じて点検を行うこと。）

エ 終了後、委託者により整備状態の検査を受ける。

オ 委託者による検査終了後、客室腰掛を取り付け作業終了とする。

カ 作業中、各部に異常が認められた場合には委託者へ報告すること。

7 経費の負担

本業務の履行に要する経費のうち、電気等は委託者の負担とし、その他、本業務に必要な全ての経費は受託者の負担とする。

8 提出書類

契約締結後、次表に定める書類を提出すること。

提出書類	部数	提出期限	備考
業務着手届	1	着手と同時	第8号様式
業務工程表	1	着手と同時	第9号様式
業務主任経歴書	1	着手と同時	第10号様式
労働災害保険関係の成立を証する文書	1	着手と同時	
業務日報	1	作業日毎	
検査成績書	1	作業日毎	
実施報告書	1	作業日毎	第11号様式
業務完了届	1	対象編成すべての作業終了時	第13号様式

9 疑義

本仕様書の内容または業務の履行に関し疑義が生じた場合は、委託者と十分協議を行うこと。

10 検査および支払い

車両1編成を作業及び検査の単位とする。

業務対象編成すべての作業が終了し業務完了届が提出され、委託者が行う完了検査に合格した後に総額を支払うものとする。

11 再委託の取扱い

受託者は、業務の全部若しくは一部を第三者に委託してはならない。ただし、業務の一部であって業務の性質上、再委託が発生する場合は契約締結後直ちに委託者へ申し出ること。委託者がやむを得ないと認めた場合は再委託承諾願(指定様式)を書面にて提出し、委託者から再委託承諾通知により承諾を得なければならない。

12 札幌市鉄道事業安全管理規程の遵守および運輸安全管理の徹底

- (1) 受託者は安全第一の意識を持って、札幌市鉄道事業安全管理規程で定める事項を遵守すると共に輸送の安全を確保するため社内体制を整備し、作業従事者にはこれを徹底すること。
- (2) 受託者は委託者の輸送事業に係る安全管理体制に積極的に協力をすると共に、輸送の安全を確保するため、委託者との綿密な連携を図ること。

13 札幌市環境マネジメントシステムの運用への協力

受託者は、作業従事者へ札幌市の「環境方針」(下記URL参照)を周知し、札幌市の環境配慮に対する取り組みについて理解させること。

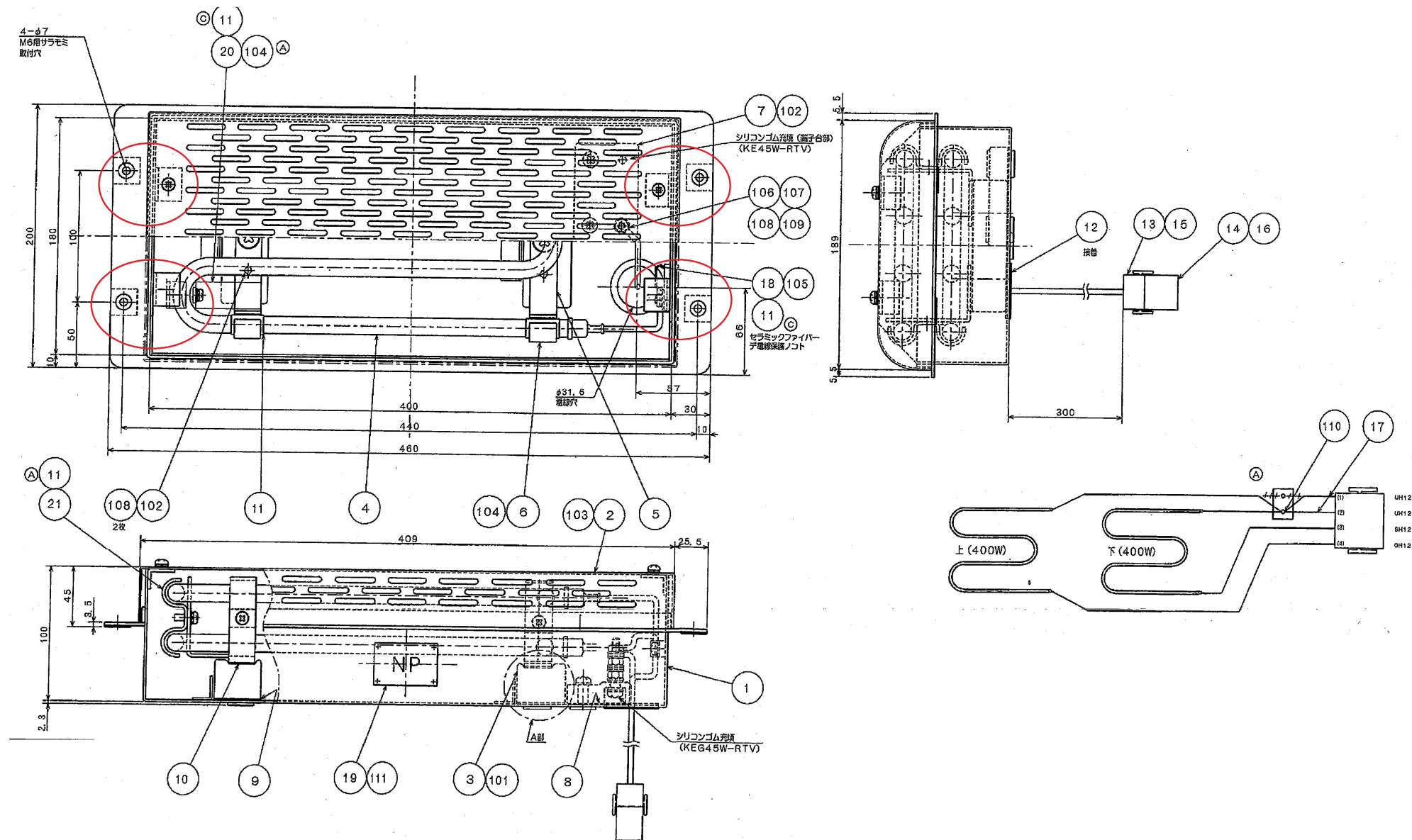
https://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_torikumi/documents/kankyo_houshin.pdf

運転室ヒータ 図面

運転室ヒータは運転台に3台あります。

ねじを8か所緩め、蓋を2個外し清掃してください。

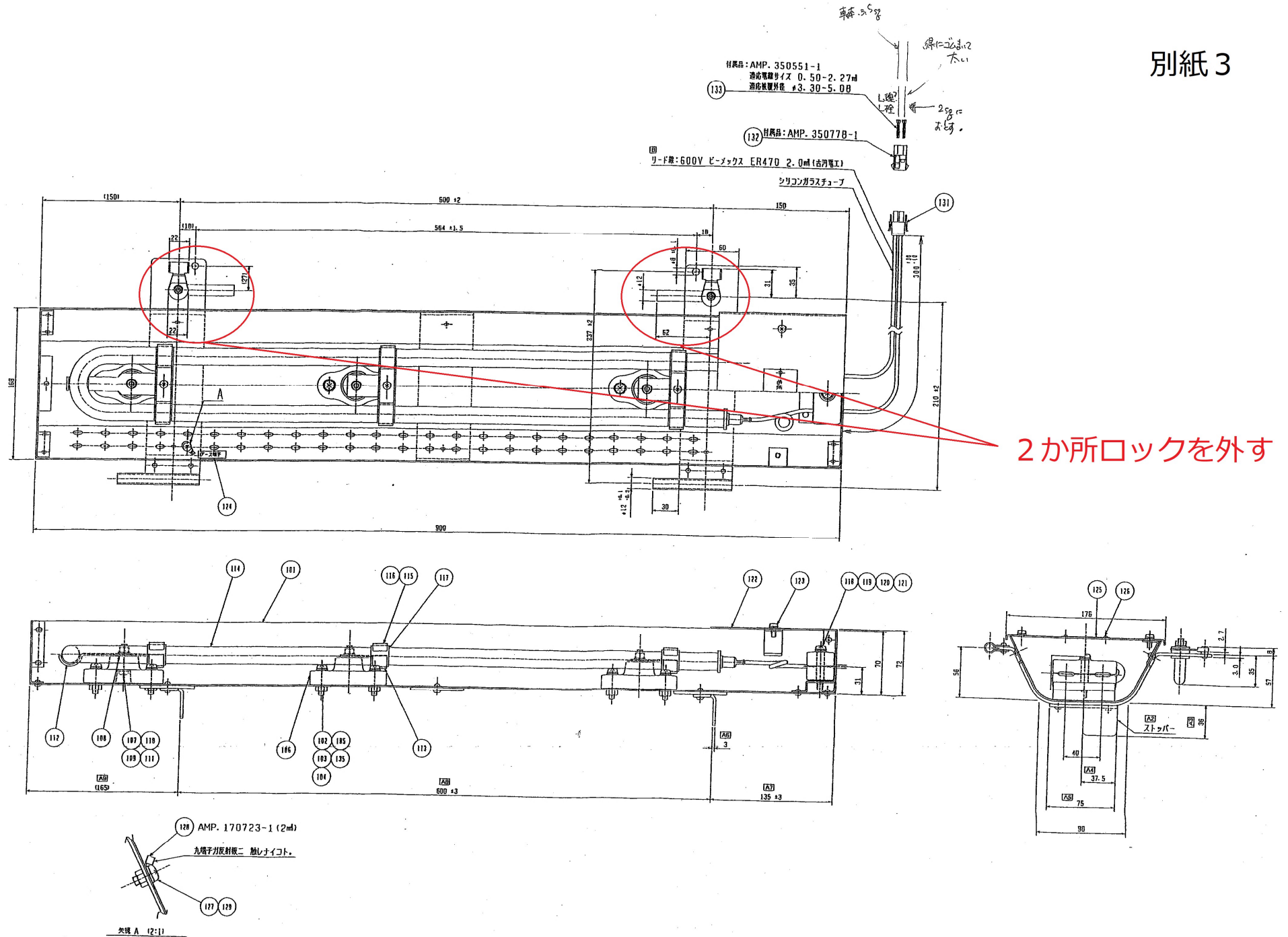
別紙 1



区 分			整 備 項 目	整 備 基 準	全	重	整 備 内 容
六	車体及び車室	暖房装置	乗務員室用ヒーター	1 外枠、遮熱板の取付状態及び破損、変形、変色の有無	●	●	1
				2 発熱体、口出線の断線、短絡、変色の有無及び取付状態の良否	●	●	(1) 目視
				3 絶縁物の焼損、亀裂、汚損の有無	●	●	(2) 清掃
六	車体及び車室	暖房装置	乗務員室用ヒーター	4 絶縁特性の良否	●	●	2
				(追加)	●	●	(1) 目視
				6 切換えスイッチの損傷の有無及び切換え動作の良否を確認する	●	●	(2) 触手
六	車体及び車室	暖房装置	乗務員室用ヒーター	4 絶縁抵抗試験 0.1MΩ以上（500Vメガー）	●	●	3
					●	●	(1) 目視
					●	●	(2) 触手
六	車体及び車室	暖房装置	乗務員室用ヒーター		●	●	4 測定
	車体及び車室	暖房装置	乗務員室用ヒーター		●	●	6 目視、切換え動作確認
	車体及び車室	暖房装置	乗務員室用ヒーター		●	●	
六	車体及び車室	送風装置	ラインデリア	1 本体、コネクタの損傷、取付状態の良否	●	●	1
	車体及び車室	送風装置	ラインデリア	2 接触器は、四ロ(3)による	●	●	(1) 目視
	車体及び車室	送風装置	ラインデリア	(1) 外観、絶縁物の汚損、損傷、劣化の有無	●	●	(2) 清掃
六	車体及び車室	送風装置	ラインデリア	(2) 可動部及び接触部の汚損損傷の有無及び可動部の動作の良否及び競合の有無	●	●	2
	車体及び車室	送風装置	ラインデリア	(3) 各部の取付状態の良否	●	●	
	車体及び車室	送風装置	ラインデリア	(4) 端子、わたり線、編導線の損傷の有無	●	●	
六	車体及び車室	送風装置	ラインデリア	(5) コイル特性の良否及び断線、短絡、変色の有無	●	●	
	車体及び車室	送風装置	ラインデリア	(6) 接触部の接触状態、摩耗、荒損、変色、及び接触圧力、オーバートラベルの適否	●	●	
	車体及び車室	送風装置	ラインデリア		●	●	
六	車体及び車室	送風装置	乗務員用ファン	1 本体、コネクタの損傷、取付状態の良否	●	●	1
	車体及び車室	送風装置	乗務員用ファン		●	●	(1) 目視
	車体及び車室	送風装置	乗務員用ファン		●	●	(2) 清掃

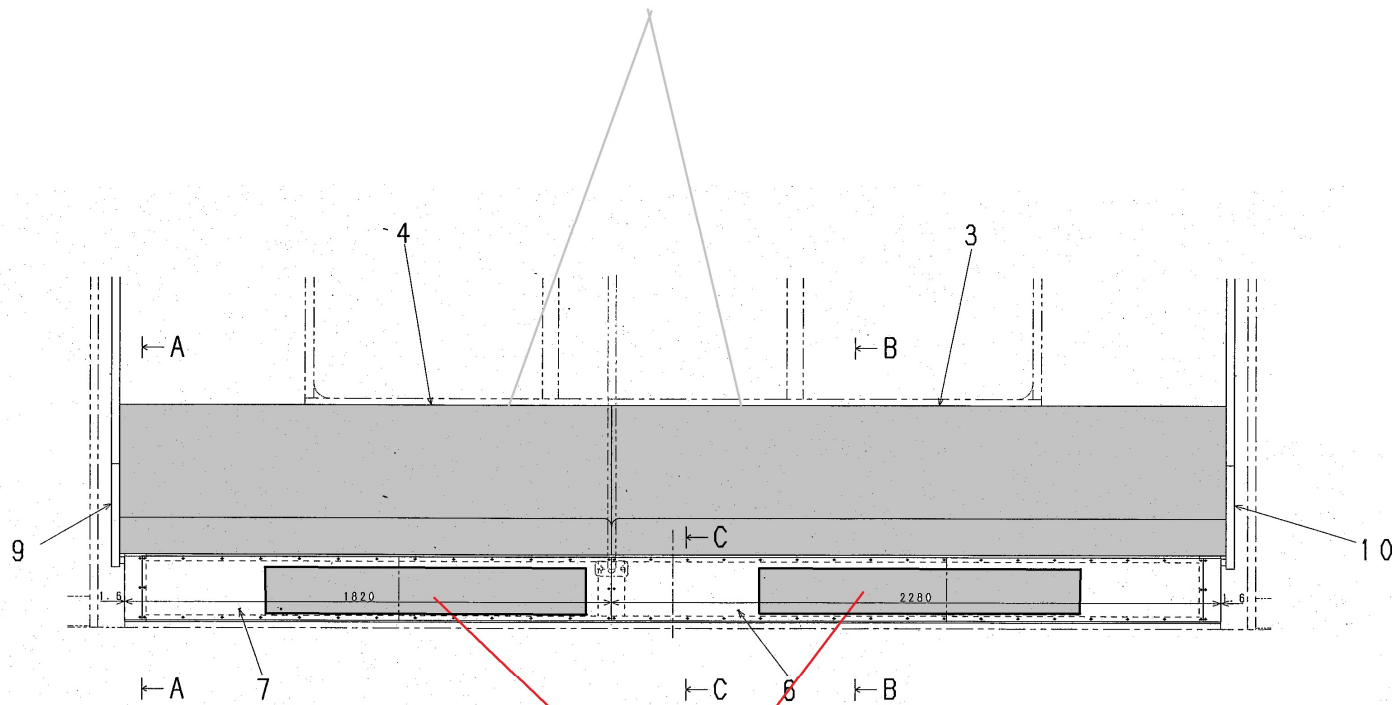
客室ヒータ 図面

別紙 3

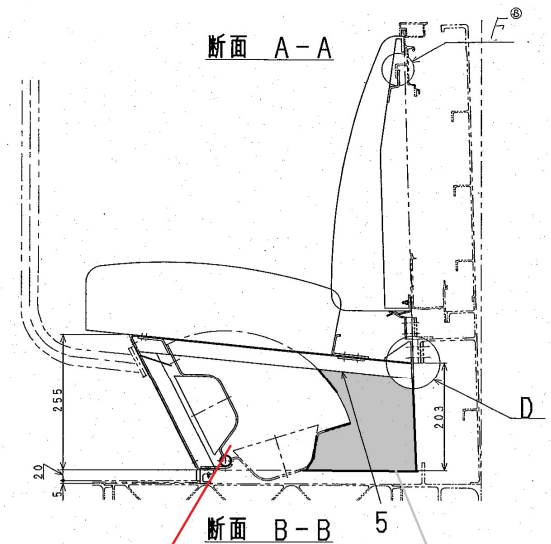


客室ヒータの内枠、外枠

及び客室ヒータ周りも清掃すること



客室ヒータ



客室ヒータ

客室ヒータ周りも
清掃すること。

区 分			整 備 項 目	整 備 基 準	全	重	整 備 内 容
六	ホ	(2)	1 灯及び灯具の損傷の有無及び取付状態の良否 2 ソケット及び端子接続部、口出し線の状態の良否 3 前面ガラス、レンズの汚損、損傷の有無 (追加) 4 L E D点灯状態の良否 (1) 輝度にバラツキがないこと (2) 全体の5 0 %以上の消灯で交換		●	●	1 目視 2 (1) 目視 (2) 清掃 (3) 増締 3 (1) 目視 (2) 清掃 4 目視
	へ		1 外枠、遮熱板の取付状態及び破損、変形、変色の有無 2 発熱体、口出線の断線、短絡、変色の有無及び取付状態の良否 3 絶縁物の焼損、き裂、汚損の有無 4 絶縁特性の良否 5 接触器は、四口(3)による	1 各部のゴミ・ホコリの有無 4 絶縁抵抗試験 0.1MΩ以上 (500Vメガー)	●	●	1 (1) 目視 (2) 清掃 2 (1) 目視 (2) 触手 3 (1) 目視 (2) 清掃 4 測定 5

東西線8000形車両ヒータ整備

金

円

仕様書番号 札交車26第2158号

名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
直接人件費		1	式			第1号内訳書
直接物品費		1	式			
直接業務費		1	式			
業務管理費		1	式			
業務原価		1	式			
一般管理費等		1	式			
業務価格		1	式			
業務価格 再計		1	式			
消費税等相当額						
保守業務委託費		1	式			

東西線8000形車両ヒータ整備

第1号内訳書

[illegible]